⑼　本工事は、情報ネットワークを活用した受発注者間の情報の電子化、共有化、承認経路の自動化と電子納品を実施する。

⑽　本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。ただし、入札時ＶＥ方式（総合評価落札方式）の提案範囲を除く。

⑾　本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

⑿　本工事は、ＩＳＯ9001認証取得を活用した監督業務の取扱いの対象工事である。ただし、低入札価格調査の対象となった場合を除く。

⒀　本工事は、見積参考資料（金抜き設計書）を開示する工事である。

⒁　本工事は、中間前金払に代わり、出来高に応じた部分払いを選択することができる、「出来高部分払方式」の対象工事である。

なお、選択に当たっては、落札決定後、速やかに支出負担行為担当官に通知するものとする。

⒂　本工事は、契約締結後、総価契約の内訳として、単価等について合意を行う「総価契約単価合意方式」の対象工事である。

なお、本方式の実施にあたっては、単価等を個別に合意する方式を基本とするが、受注者の希望により、単価を一括的に合意する方式も可能とする。

2　競争参加資格

次に掲げる条件を満たしている者により構成される特定ＪＶ又は単体有資格業者であること。

なお、特定ＪＶとして競争に参加する場合は、当該工事について特定ＪＶとしての競争参加資格決定を受けること。（構成員数は２社とする。）

⑴　予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。

⑵　中部地方整備局（港湾空港関係）における平成27・28年度の港湾等鋼構造物工事に係る一般競争参加資格の決定の際に算定した客観点数が、1,100点以上の者であること。また平成29・30年度の一般競争参加資格の定期受付において、希望工種を港湾等鋼構造物工事として申請していること。

なお、契約の相手方となるためには平成29年４月１日時点において、港湾等鋼構造物工事に係る一般競争参加資格の決定の際に算定した客観点数が、1,100点以上の者であることを条件とする。

⑶　平成13年４月１日以降かつ競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日までに元請けとして完成・引き渡しが完了した、以下に掲げる同種工事の実績を有すること。（共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が20％以上であること。ただし、乙型共同企業体の施工実績については、出資比率にかかわらず各構成員が施工を行った分担工事の実績であること。）経常建設共同企業体である場合は、すべての構成員が①に掲げる同種工事を施工した実績を有すること。

なお、当該施工実績が全地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局の発注した工事（港湾空港関係）に係る施工実績である場合にあっては、「請負工事成績評定要領」（平成25年３月29日付け国港技第112号）第５条第２項に規定する工事成績評定表の評定点合計が65点未満のものを除く。

①　単体有資格業者及び特定ＪＶの代表者にあっては、ａ）からｃ）までに掲げる基準をすべて満たす鋼橋を製作し作業船にて一括架設した工事の施工実績を有すること。

なお、ａ）からｃ）までは、同一工事であること。

ａ）道路橋（Ｂ括荷重）又は鉄道橋（モノレール及び新交通システムに係るものを除く。）の工事

ｂ）橋梁形式が鈑桁橋及び単純箱桁橋を除く鋼橋の工事。ただし、鋼床版橋は対象とする。

ｃ）最大支間長が40m以上の工事

②　特定ＪＶの代表者以外の構成員にあっては、ａ’）からｃ’）までに掲げる基準をすべて満たす鋼橋を製作し作業船にて一括架設した工事の施工実績を有すること。

なお、ａ’）からｃ’）までは、同一工事であること。

ａ’）道路橋（Ｂ括荷重）又は鉄道橋（モノレール及び新交通システムに係るものを除く。）の工事

ｂ’）橋梁形式が鈑桁橋及び単純箱桁橋を除く鋼橋の工事。ただし、鋼床版橋は対象とする。

ｃ’）最大支間長が20m以上の工事

⑷　標準的な施工方法が適正であること。（入札説明書参照）

⑸　次に掲げる基準をすべて満たす主任技術者又は監理技術者を当該工事に専任で配置できること。ただし、現地での架設期間については専任で配置できること。（現地での架設期間は平成29年11月から平成30年10月を予定している。）架設現場の配置予定技術者と製作現場（工場）の配置予定技術者は同一でなくてもよい。ただし、架設現場の配置予定技術者は、①から⑤の基準を満たす者であること。また製作現場（工場）の配置予定技術者は①④⑤の基準を満たす者であること。

①　１級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者であること。

②　単体有資格業者及び特定ＪＶの代表者にあっては、平成13年４月１日以降かつ申請書及び資料の提出期限の日までに元請けとして完成・引渡しが完了した、ａ）からｃ）までに掲げる基準をすべて満たす鋼橋を作業船にて一括架設した工事の施工実績を有すること。

なお、ａ）からｃ）までは、同一工事であること。

ａ）道路橋（Ｂ括荷重）又は鉄道橋（モノレール及び新交通システムに係るものを除く。）の工事

ｂ）橋梁形式が鈑桁橋及び単純箱桁橋を除く鋼橋の工事。ただし、鋼床版橋は対象とする。

ｃ）最大支間長が20m以上の工事

③　特定ＪＶの代表者以外の構成員にあっては、平成13年４月１日以降かつ申請書及び資料の提出期限の日までに元請けとして完成・引渡しが完了した、ａ’）及びｂ’）に掲げる基準を満たす鋼橋を作業船にて一括架設した工事の施工実績を有すること。

なお、ａ’）及びｂ’）は、同一工事であること。

ａ’）道路橋（Ｂ括荷重）又は鉄道橋（モノレール及び新交通システムに係るものを除く。）の工事

ｂ’）橋梁形式が鈑桁橋及び単純箱桁橋を除く鋼橋の工事。ただし、鋼床版橋は対象とする。

④　監理技術者にあっては、指定建設業監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有すること。

⑤　配置予定の監理技術者にあっては直接的かつ恒常的な雇用関係が必要であるので、その旨を明示することができる資料を求めることがあり、その明示がなされない場合は入札に参加できないことがある。

⑹　申請書及び資料の提出期限の日から開札の時までの期間に、中部地方整備局から「地方整備局（港湾空港関係）所掌の工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（昭和59年３月31日付け港管第927号）に基づく指名停止を受けていない者であること。

⑺　会社更生法に基づき更生手続開始の申立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申立てがなされている者でないこと。

⑻　入札に参加しようとする者の間に資本関係又は人的関係がないこと。（資本関係又は人的関係がある者のすべてが共同企業体の代表者以外の構成員である場合を除く。）（入札説明書参照）

⑼　上記１に示した工事に係る設計業務等の受託者又は当該受託者と資本若しくは人事面において関連がある者でないこと。また入札説明書に示す発注支援業務の受託者又は当該受